取扱説明書

《セパレート形》

天井吊形

室内ユニット

新冷媒シリーズ（R410A）

FHP224A　FHP280A

●このたびはダイキンエアコンをお買上げいただき、まことにありがとうございます。

●この取扱説明書には、安全についての注意事項を記載しております。
正しくお使いいただくために、ご使用前に、必ずお読みください。
お読みになった後、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。
また、お使いになる方が代わる場合は、必ずこの取扱説明書をお渡しください。

●この取扱説明書は室内ユニット専用ですので、室外ユニット付属の取扱説明書とあわせてご覧ください。
保証書はお買上げの販売店からお受取りのうえ、大切に保管してください。

上手に使って上手に節電

安全について　必ず守ってください

ご使用の前に、よくお読みのうえ、正しくお使いください

●ここに示した注意事項は、次の2種類に分類しています。
いずれも安全に関する重要な注意事項を記載していますので、必ず守ってください。

区分	内容
⚠警告	誤った取扱いにより、死亡や重傷などの重大な結果に結び付く可能性が大きいもの。
⚠注意	誤った取扱いにより、傷害を負う可能性、または物的損害の可能性があるもの。 状況によっては重大な結果に結び付く可能性もあります。

●本文中の絵表示は、次のような意味を表わしています。

絵表示	意味	絵表示	意味	絵表示	意味
⃠	絶対にしないでください。	❗	必ず指示どおりに行ってください。	⏚	必ずアース工事をしてください。
⃠	絶対にぬれた手で触れないでください。	⃠	絶対に水にぬらさないでください。		

⚠警告 使用上の注意事項

●長時間冷・温風を体に直接当てたり、冷やし過ぎ・暖め過ぎをしない

体調悪化・健康障害の原因になります。

禁止

●運転中、吸込口・吹出口や風向羽根に指や棒などを入れない

ファンが高速で回転しており、けがの原因になります。

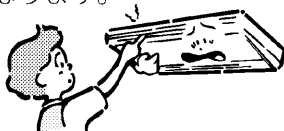
禁止

●冷媒がもれたら火気厳禁

エアコンに使用されている冷媒は安全で、通常もれることはありませんが、万一、冷媒が室内にもれ、ファンヒーター・ストーブ・コンロなどの火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。燃焼器具などの火気を消して部屋の換気を行い、お買上げの販売店にご連絡ください。冷媒もれの修理の場合は、もれ箇所の修理が確実に行われたことをサービスマンに確認の上、運転してください。

禁止

●ヒューズ付負荷開閉器の場合、正しい容量のヒューズ以外は使用しない

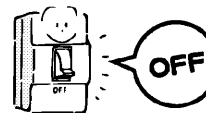
針金などを使用すると故障や火災の原因になります。

禁止

●分解や改造・修理をしない

水もれ・感電・火災の原因になります。お買上げの販売店にご依頼ください。

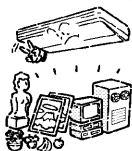
禁止

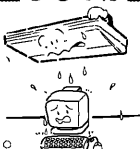
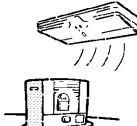
●異常時(こげ臭いなど)は、運転を停止して電源をしゃ断する

異常のまま運転を続けると、故障や感電・火災の原因になります。お買上げの販売店にご連絡ください。

●洪水・台風など天災でエアコンが水没したときは、お買上げの販売店に相談する

運転をすると、故障や感電・火災などの原因になります。

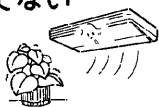
⚠注意 使用上の注意事項

●**ほかの目的に使用しない**
食品・動植物・精密機器・美術品の保存など特殊用途には使用しないでください。品質低下の原因になることがあります。

●**室外ユニットの吹出口を取り外さない**
ファンが露出し、けがの原因になることがあります。

●**室内ユニットの下にぬれて困るものは置かない**
湿度が80%以上の場合やドレン出口が詰まっている、またエアフィルターが汚れている場合には、露が落ちることがあります。

●**エアコンの風が直接当たるところで燃焼器具を使わない**
燃焼器具の不完全燃焼の原因になることがあります。

●**室外ユニットの上に乗ったり物を載せたりしない**
落下・転倒などにより、けがの原因になることがあります。

●**可燃性スプレーを近くに置いたり吹き付けたりしない**
引火のおそれがあります。

●**動植物に風を直接当てない**
動植物に悪影響をおよぼす原因になることがあります。

禁止

●**室内外ユニットの吸込口やアルミフィンにさわらない**
けがの原因になることがあります。

●**リモコン内部には絶対に触れない**
前面パネルを外さないでください。内部に手を触れると感電や故障の原因になることがあります。内部の点検調整はお買上げの販売店にご依頼ください。

●**電源ブレーカーによるエアコンの運転や停止をしない**
火災や水もれの原因になることがあります。また、停電補償が有効に設定されている場合、ファンが突然回り、けがの原因になることがあります。

禁止

●**ぬれた手で操作しない**
感電の原因になることがあります。

●**エアコンを水洗いしない**
感電や発火の原因になることがあります。

●**ほかの燃焼器具と併用の際は、こまめに換気をする**
換気が不十分な場合は、酸素不足の原因になることがあります。

●**長期間使用で据付台などが傷んでいないか注意する**
傷んだ状態で放置するとユニットの落下・転倒につながり、けがの原因になることがあります。

●**清掃時は必ず運転を停止し、電源をしゃ断する**
感電やけがの原因になることがあります。

●**室内ユニット内部の洗浄は販売店に相談する**
誤った方法で洗浄を行うと、樹脂部分が破損したり水もれなどの故障や感電の原因になることがあります。

●**室外ユニットの周辺に物を置いたり、落ち葉がたまらないようにする**
落ち葉などがあると、小動物が侵入して、内部の電気部品に触れると、故障や発煙・発火の原因になることがあります。

●**エアフィルターなどの清掃時は、足場に気をつける**
足場が不安定な場合は、落下・転倒などによりけがの原因になることがあります。

⚠警告 据付上の注意事項

●**据付工事は、自分でしない**
ご自分で工事をされ、不備があると、
水もれ・感電・火災の原因になります。
お買上げの販売店にご依頼ください。

禁止

●**アース工事をする**
アース線は、ガス管・水道管・避雷針・
電話のアース線に接続しないでください。
アースが不完全な場合は、感電や火災の
原因になります。

●**別売品の取付けは、自分でしない**
別売品は、必ず当社指定の製品を
使用してください。
ご自分で取付けをされ不備があると、
水もれ・感電・火災の原因になります。
お買上げの販売店にご依頼ください。

禁止

●**漏電しゃ断器を取り付ける**
取り付けられていないと、感電や
火災の原因になります。

●**移動・再設置は、自分でしない**
据付けに不備があると、水もれ・感電・
火災の原因になります。
お買上げの販売店にご依頼ください。

禁止

●**冷媒もれ対策は、販売店に相談する**
万一冷媒がもれて限界濃度を超えると、
酸欠事故の原因になります。
小部屋に据え付ける場合は、
冷媒がもれても限界濃度を超えない
ように対策する必要があります。

⚠注意 据付上の注意事項

●**可燃性ガスのもれるおそれのある
ところへは設置しない**
万一ガスがもれてユニットの
周囲に溜まると、発火の原因に
なることがあります。

禁止

●**リモコンは、水のかかるおそれの
ある場所に設置しない**
水が機器の内部に入ると、感電の
おそれがあるほか、内部の電子部品が
故障する原因になることがあります。

水ぬれ禁止

●**ドレン配管は確実に排水するよう
施工する**
不確実な場合は、水もれなどの
原因になることがあります。

据付場所について

●**まわりに障害物のない風通しの良いところに
設置されていますか？**

●**次のような場所では使用しないでください。**
a. 切削油など鉱物油の立ち込めるところ
b. 海浜地区など塩分の多いところ
c. 温泉地帯など硫化ガスのあるところ
d. 工場など電圧変動の多いところ
e. 車両・船舶への搭載など
f. 調理場など油の飛沫や蒸気の多いところ
g. 電磁波を発生する機械のあるところ
h. 酸・アルカリ性蒸気の立ち込めるところ

●**防雪対策されていますか？**
防雪フードなど、詳細はお買上げの販売店へご相談ください。

電気工事について

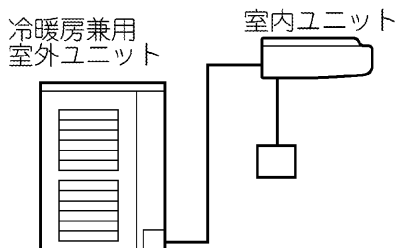
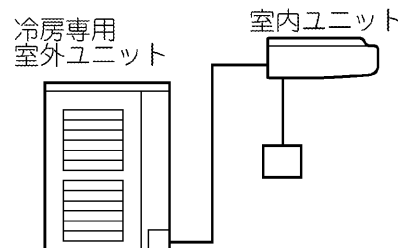
●**電気工事・D種接地工事の施工には資格が
必要です。**
お買上げの販売店に依頼し、ご自分では
なさらないでください。

●**エアコン専用の回路をご使用ですか？**

運転音にもご配慮を

●**次のような場所を選んでいますか？**
a. エアコンの重量に十分耐え、運転音や振動が
増大しないような場所
b. 室外ユニットの吹出口からの温風や運転音が
隣家の迷惑にならないような場所

●**室外ユニットの吹出口近くに障害物が
ありませんか？**
機能低下や運転音増大のもとになります。

●**使用中に異常音がする場合はお買上げの
販売店にご相談ください。**

ドレン配管の排水について

●**ドレン配管は確実に排水するよう施工されて
いますか？**
冷房運転時、ドレン配管から排水されていない
場合は、ドレン配管内でゴミ・ホコリなどが
つまり、室内ユニットから水がもれる原因に
なることがあります。
運転を停止して、お買上げの販売店に
ご相談ください。

必ずお読みください　ご使用前に

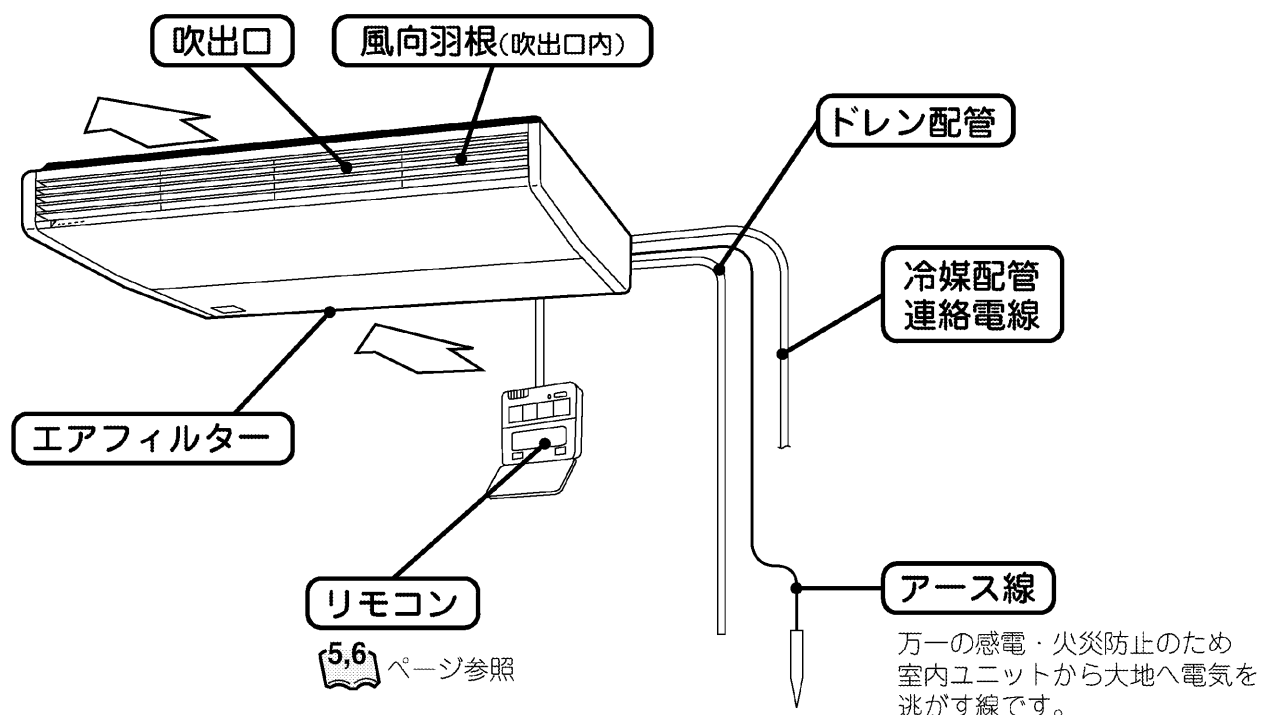
本室内ユニットは、組合せのシステムにより次のタイプがあります。
どのタイプとして設置されているかお買上げの販売店に確認してから操作してください。

- 運転操作についてはリモコン付ユニットに付属の取扱説明書にしたがって操作してください。
  また、ワイヤレスリモコンをご使用の場合は、ワイヤレスリモコンキットに付属の取扱説明書を合わせてご覧ください。
- ワイヤードリモコンにはBRC1CタイプとBRC1Eタイプの2種類があります。
  BRC1Cタイプをご使用の場合は、この取扱説明書をご覧ください。
  BRC1Eタイプをご使用の場合は、リモコンに付属の取扱説明書をご覧ください。

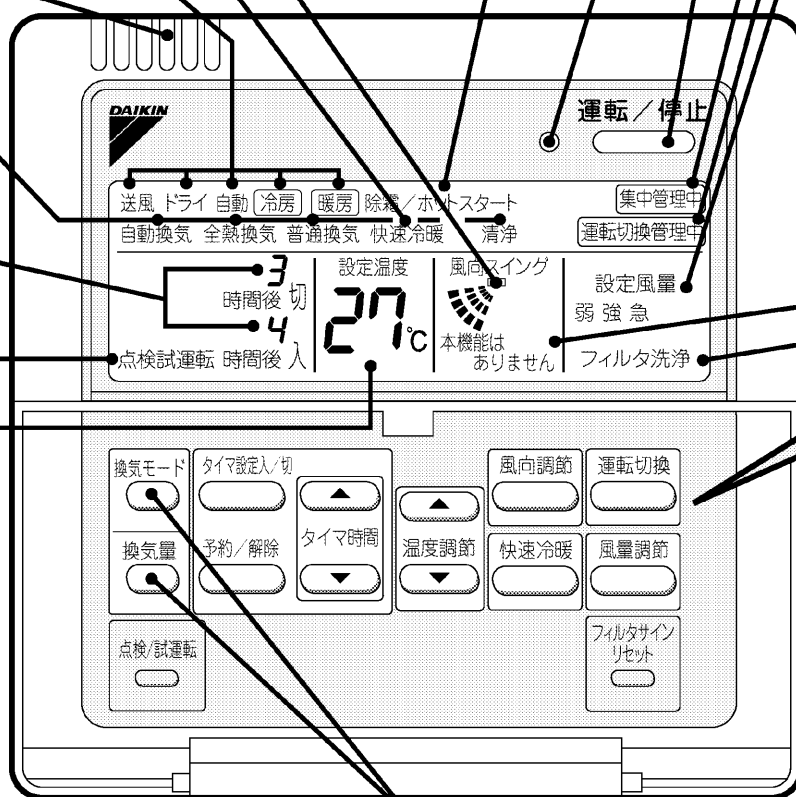
ご使用の前に

各部の名前と働き

5,6 ページ参照

万一の感電・火災防止のため室内ユニットから大地へ電気を逃がす線です。

リモコン各部の名前と働き

●リモコンにはBRC1Cタイプ・BRC1Eタイプの2種類があります。室外ユニットの種類により組み合わせるリモコンが異なります。（本文の説明はBRC1C3で記載しています。）
ご使用のリモコンがBRC1Eタイプの場合は、リモコンに付属の取扱説明書をご覧ください。

●室内ユニットにより装備している機能が異なります。装備されていない機能のボタン(本文中に記載のないボタン)を操作した場合には、「本機能はありません」表示が表示されます。
機能(ボタン)の詳しい内容については、お買上げの販売店に確認してください。

表示部

（上の表示は説明のため、すべてを表示しています。実際の運転時とは異なります。）

集中管理中表示

集中制御機器(別売品)で管理され、リモコンからの操作が禁止されている時に表示します。

運転切換管理中表示

この表示のあるリモコンは「冷房」「暖房」「自動」「ドライ」の切換えができません。

風量表示

設定した風量を表示します。

機能なし表示

- 操作ボタンを押してもその機能が室内ユニットに装備されていない場合には「本機能はありません」と数秒間表示が出ることがあります。
- 複数台同時運転の場合「本機能はありません」表示はすべての室内ユニットにその機能が装備されていないときに限り表示されます。
1台でもその機能を装備した機種があれば表示されません。

フィルター洗浄表示

14 ページ参照

お願い

- **リモコンは直射日光のあたる場所には設置しないでください。液晶表示部が変色し表示できなくなることがあります。**
- **リモコンコードをひっぱったり、ねじったりしないでください。故障の原因になることがあります。**
- **リモコンのボタンを先のとがったもので押さないでください。破損し、故障の原因になることがあります。**

タイマー設定入/切ボタン

11,12 ページ参照

予約/解除ボタン

11,12 ページ参照

風向調節ボタン

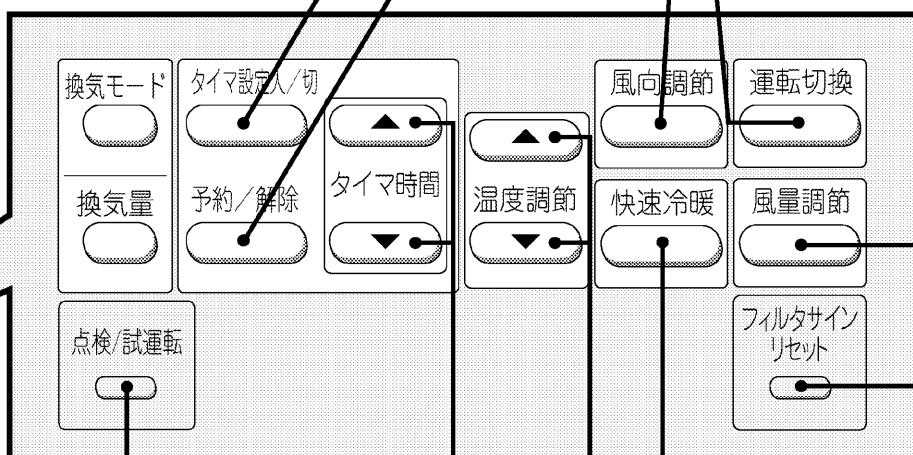
10 ページ参照

風量調節ボタン

このボタンを押すごとに「弱」「強」「急」の3段階の調節ができます。

運転切換ボタン

運転モード(「冷房」「暖房」「自動」「送風」「ドライ」)を切り換えるときに押します。

換気モード
換気量
タイマ設定入/切
予約/解除
タイマ時間
温度調節
風向調節
運転切換
快速冷暖
風量調節
フィルタサイン リセット
点検/試運転

点検/試運転ボタン(サービス用)

点検または試運転時に押します。
- 通常は使用しないでください。

タイマー時間ボタン

タイマー時間の設定のときに押します。

11,12 ページ参照

快速冷暖ボタン(BRC1C3)

7,8 ページ参照

BRC1C1にはボタンがありません。

フィルターサインリセットボタン

14 ページ参照

温度調節ボタン

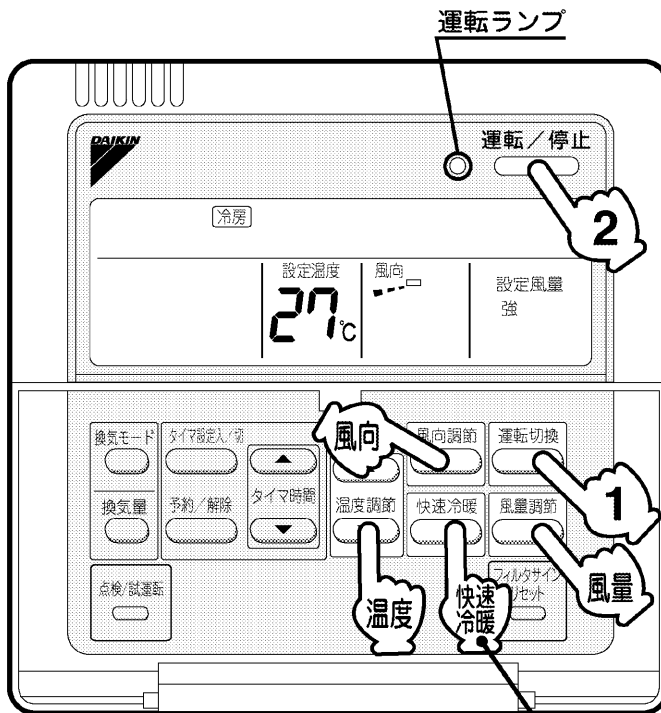
温度の設定のときに押します。

8 ページ参照

操作部

(上の図はふたを開けた状態を示しています。)

ご使用の前に

冷房・暖房・自動・送風運転のしかた

● 上の表示は冷房運転の場合です。

BRC1C3は「快速冷暖ボタン」があります。
BRC1C1は、ボタンがありません。

準備

- 機械保護のため、運転を開始する6時間以上前に電源を入れてください。
- シーズン中は電源をしゃ断しないでください。
  始動を円滑にするためです。

1 **運転切換**を数回押し、**「冷房」「暖房」「自動」「送風」**のうちご希望の運転に切り換えます。

- 冷房専用タイプの場合は「冷房」と「送風」のみ設定可能です。

2 **運転/停止**を押します。
運転ランプ(赤)が点灯し、運転を開始します。

運転の内容と働き

冷房	暖房	送風
おすすめ設定温度は、26～28℃です。	おすすめ設定温度は、18～23℃です。	室内の空気を循環させます。

自動(冷暖自動)

- 運転中、ある室内温度を境に自動で
  冷房運転 ←→ 暖房運転が切り換わります。
- 設定温度は変更できますが、運転内容が切り換わると自動で設定温度も変更します。
  (室温を一定に保つ運転ではありません。)
  「自動冷房」→「自動暖房」時は5℃設定温度が下がります。
  「自動暖房」→「自動冷房」時は5℃設定温度が上がります。
- 「自動」運転にすると設定温度に対して体感温度の補正を行うので、年間を通じて快適さを保ちながらさらに省エネ運転ができます。

例 「自動冷房」で27℃にセットされた状態から、室内温度が下がり25℃以下になると「自動暖房」に切り換わります。
その時、設定温度は22℃に変更され、さらに室内温度が下がり22℃以下になったところで暖房運転が始まります。
暖房→冷房の時も同様になります。

快速冷暖

室内ユニットの風量を自動でコントロールし、室外ユニットの能力を上げて、すばやく快適な室温にします。
(マイコンドライ運転の場合は、この設定はできません。)

温度

温度調節を押します。
「▲」を押すごとに1℃ずつ上がります。
「▼」を押すごとに1℃ずつ下がります。

●送風運転の場合は設定できません。

風量

風量調節を押し
「弱」「強」「急」のうちご希望の運転に切り換えます。

●機械保護のため、自動で風量をコントロールすることがあります。
●室温に応じて、自動で風量を変更することがあります。また、ファンが停止する場合もありますが、異常ではありません。
●風量の切換完了までに時間がかかる場合がありますが、異常ではありません。

風向

風向調節を押します。
ページ参照

停止

もう1度**運転/停止**を押します。
運転ランプが消灯し、運転を停止します。

●暖房運転の場合、停止後に室内ユニット内の熱を取り去るため約1分間は送風運転します。

●運転停止後、すぐに電源をしゃ断しないでください。ドレン排出装置の残留運転が終わるまで、必ず5分以上待ってください。水もれや故障の原因になることがあります。

使用条件

下記以外の使用条件で長時間運転すると安全装置が働き、運転しないことや室内ユニットから露が落ちる場合があります。

運転モード	タイプ		使用条件(室内ユニット吸込空気) 温度	湿度
冷房	冷暖房兼用 冷房専用		21～32℃	80%以下
暖房	冷暖房兼用		15～27℃	——
自動	冷暖房兼用	冷房	21～32℃	80%以下
		暖房	15～27℃	——

快速冷暖運転

快速冷暖ボタンを押すと約30分間最大能力で運転します。
オフィスの始業前や、店舗で来客急増時に便利です。

快速冷暖

快速冷暖を押します。
「快速冷暖」表示が点灯し、快速冷暖運転を開始します。
解除するときは、もう1度**快速冷暖**を押します。
「快速冷暖」表示が消灯します。

●風量表示が消灯し、風量切換ができなくなります。
●送風運転の場合は設定できません。
●快速冷暖運転は最大30分で通常運転に戻ります。
●運転切換を行った時も、通常運転に戻ります。
●暖房運転時、風量がアップし、通常より吹出温度が低くなる場合があります。
お好みに合わない場合は、運転内容を変えてください。

暖房運転の特性

運転開始について

● 一般的に暖房運転の場合、冷房運転と比べ設定温度になるまで時間がかかります。
タイマー運転を活用した事前の運転開始をおすすめします。

暖房能力の低下や冷風が吹き出すのを防ぐために次の運転を行います。

除霜運転

● 室外ユニットに霜が付くと暖房能力が下がるので自動で除霜運転に切り換わります。
● 温風が止まり、リモコンに「除霜/ホットスタート」が表示されます。
● 約6～8分(最長10分)で、元の運転に戻ります。

外気温度と暖房能力について

● 外気温度が下がるにつれて暖房能力が低下します。
このような場合はほかの暖房器具と併用してお使いください。
(燃焼器具と併用の際は、こまめに換気してください。)
エアコンの風が直接当たるところで燃焼器具を使わないでください。
● お部屋全体を暖める温風循環方式なので、運転を開始してから暖まるまで、しばらく時間がかかります。
エアコン内部の温度がある程度高くなるまでは、室内ファンは自動で微風運転になります。
● 温風が天井にこもり、足下が寒いときは、サーキュレータ(室内循環用ファン)のご使用をおすすめします。詳しくはお買上げの販売店にご相談ください。

マイコンドライ運転のしかた

準備	● 機械保護のため、運転を開始する6時間以上前に電源を入れてください。 ● シーズン中は電源をしゃ断しないでください。 始動を円滑にするためです。
1	**運転切換**を数回押し、 **「ドライ」**に切り換えます。
2	**運転/停止**を押します。 運転ランプ（赤）が点灯し、運転を開始します。

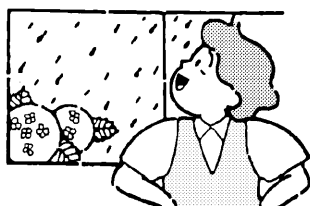
風向を変えたいときは

風向	**風向調節**を押します。 10 ページ参照
停止	もう1度**運転/停止**を押します。 運転ランプが消灯し、運転を停止します。

● 運転停止後、すぐに電源をしゃ断しないでください。
ドレン排出装置の残留運転が終わるまで
必ず5分以上待ってください。
水もれや故障の原因になることがあります。

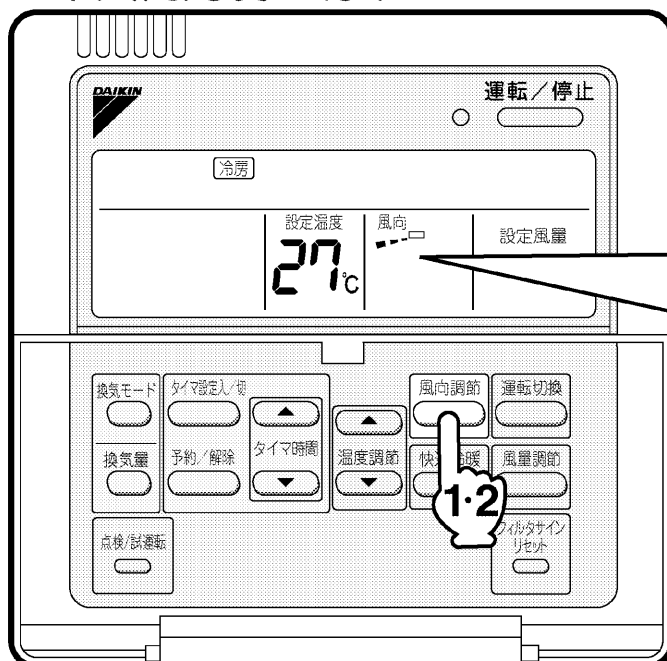
運転の内容と働き

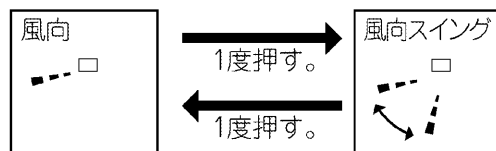
マイコンドライ

マイコンドライとは、冷え過ぎを防止するために室温をできるだけ下げないよう、弱めの冷房運転と停止を繰り返して湿気を取る機能です。

マイコンドライ運転について

- 湿度と風量はマイコンが自動でコントロールするので、運転中はリモコンでの設定はできません。
- 室温が20℃以下のときは運転しません。
- 湿度の設定はできません。

風向調節のしかた

上下風向角度の調節のしかた

風向調節を押します。

● 1度押すごとに図のように表示が変わります。

「風向」に表示が変わり、固定されます。

「風向スイング」に表示が変わり自動で上下に動きます。

風向を自動で動かしたいときは

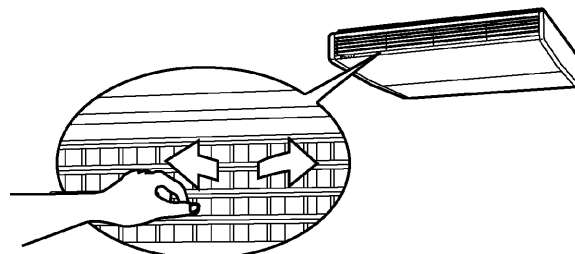
1 **風向調節**を押し、表示を**「風向スイング」**に切り換えます。
「▪▪▪□」の表示が自動で動きます。

風向を固定させたいときは

2 「▪▪▪□」の表示がご希望の位置にきたときに、**風向調節**を押します。
風向が固定されます。

左右風向角度の調節のしかた

水平羽根の内部に左右の風向調節羽根がありますので、その羽根を風を出したい方向に向けてください。

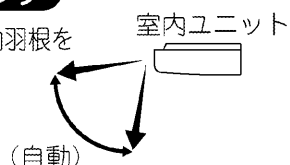
● **調節できる位置でいったん風向スイングを停止させてから行ってください。
風向スイング中に調節すると、手があたることがあります。**

運転の内容と働き

風向調節には次の3通りがあります。

上下風向スイング

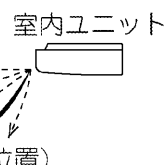
機械が自動で風向羽根を上下させます。

室内ユニット

（自動）

上下風向設定

0°～45°の間で5段階に風向を固定することができます。
（ルーバーの角度ではありません。）

室内ユニット

（希望位置）

左右風向調節

手動により、左右方向のご希望の位置に風向を固定させることができます。

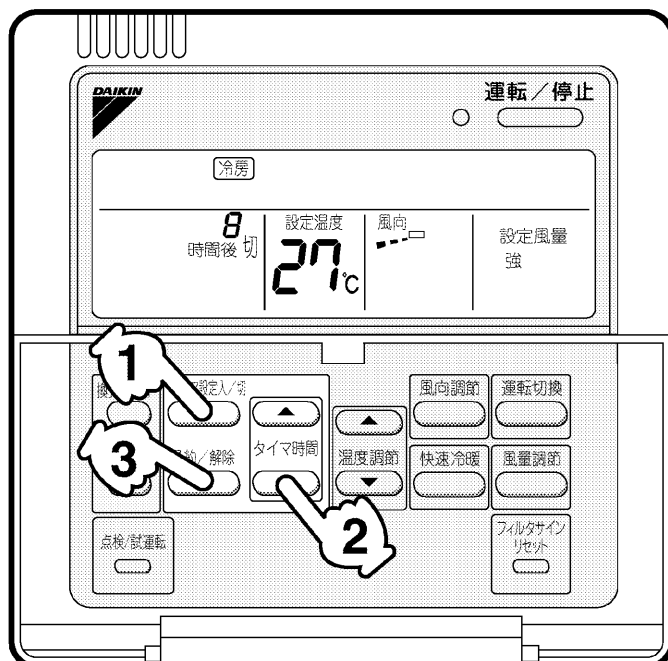
上下風向羽根の動きについて

下記の運転状態のときは自動で風向をコントロールするので、リモコンの表示とは異なる場合があります。

運転状態	● 設定温度より室温が高いとき(暖房運転の場合) ● 除霜運転時(暖房運転の場合) （冷風が直接体に当たらないように、水平吹出しとなります。）

暖房運転は、自動の場合も含みます。

運転について

タイマー運転のしかた

● 上の表示は「8時間後 切」の場合です。

1	**タイマー設定入/切**を押し、 **「時間後 切」**か**「時間後 入」** を選びます。 押すごとに表示が、 「表示なし」 「時間後 切」→「時間後 入」 と切り換わります。 「時間後 切」または「時間後 入」が点滅します。

2	**タイマー時間**を押し、時間を設定します。 「▲」を押すごとに1時間ずつ進みます。 「▼」を押すごとに1時間ずつ戻ります。

● 最大72時間まで設定できます。

3	**予約/解除**を押します。 これで予約完了です。 「時間後 入」か「時間後 切」が 点滅から点灯に変わります。

● 予約が済むと時間表示部に残り時間を表示します。

タイマー運転を取り消したいときは

取り消し	もう1度**予約/解除**を押します。 表示が消えます。

運転の内容と働き

ご希望の時間運転後停止させたいときは　時間後	ご希望の時間経過後運転を開始させたいときは　時間後
例　時間を「8」にあわせると 「8時間後 切」と表示されます。 予約完了から8時間後に運転を停止します。 (注) 運転停止後予約は解除され、表示が消えます。	例　時間を「8」にあわせると 「8時間後 入」と表示されます。 予約完了から8時間後に運転を開始します。 (注) 運転開始後予約は解除され、表示が消えます。